



中部高等学術研究所設立30周年記念に向けたプレ講演会
デジタルアース共同利用・共同研究拠点連続シンポジウム
第34回 中部大学ESD・SDGsシンポジウム

持続可能な地球の未来を設計する 社会・生態システムズアプローチの挑戦

日時：2025年5月7日(水) 13:30-17:05 場所：中部大学 不言実行館 1F アクティブホール

開始：13時30分 (開場：13時00分)

開会挨拶：柳谷啓子 (副学長) 13時30分～13時35分

趣旨説明：福井弘道 (中部高等学術研究所所長) 13時35分～13時45分

【講演① 山岳地域を気候危機から守る ―持続可能なアジアのために】

13時45分～14時45分(講演50分・質疑応答10分)



Pema Gyamtsho

国際総合山岳開発センター(ICIMOD) 所長

ブータンの自然資源管理、農林業政策に長年携わり、農林大臣や国会議員を経て2020年より現職。気候変動や環境保護、循環型農業などにも造詣が深い。ヒンドークシュ・ヒマラヤ地域 (HKH)出身の初めての所長で、この地域の多様な国とコミュニティがより環境に優しく、より包摂的で、気候変動に強い持続可能な開発へと移行できるように、HKH地域やアジアの河川集水域などの政策決定を主導している。

【講演② the One Earth Bioregions Framework

―自然復興・CNの実現のために、生態系に基づいて世界を地図化する】

15時00分～16時00分(講演50分・質疑応答10分)



Karl Burkart

One Earth 副所長、共同創設者

レオナルド・ディカプリオ財団の科学技術担当部長を経て、現在は持続可能な地球の将来に向けて取り組むOne Earthの共同創立者にして副所長。国連リオ3条約の気候変動、生物多様性、砂漠化対処など地球の本来の機能を再生する科学技術の発展に尽力。具体的に世界の生態地域のマッピングや、Global Safety Net といった30by30支援のための科学的予測モデルを用いた空間情報プラットフォームを構築、政策提言を行っている。TEDに講演者として出演(最近、「今世紀最も影響力を持った30の講演」にも選出)。

【コメント】

16時15分～17時00分(各15分)

- ・小森繁 (環境省中部地方環境事務所長)
- ・大手信人 (京都大学大学院情報学研究科教授)
- ・青木崇行 (NPO法人パックス・アース理事長、カディンチェ株式会社代表取締役)

イベント詳細・参加申込み



総括・閉会挨拶：福井弘道 (中部高等学術研究所所長) 17時00分～17時05分

主催：中部大学 中部高等学術研究所

後援：環境省中部地方環境事務所 (申請中)

連絡先：中部高等学術研究所国際GISセンター (IDEAS)

chubu-gis@fsc.chubu.ac.jp



〒487-8501

愛知県春日井市松本町1200

中部大学 23号館(3F)

35° 16'21.82"N 137° 0'47.93"E